

【参考】

クリプトスポリジウム症 (五類感染症:全数把握)

《定 義》

クリプトスポリジウム属原虫 (*Cryptosporidium spp.*) のオーシストを経口接種することによる感染症である。

《感染経路》

患者便からの糞口感染のほか、オーシストに汚染された水や食品摂取による経口感染がみられる。

家畜、イヌ、ネコ、ネズミなどにも感染がみられ、感染源となる。

《臨床的特徴》

潜伏期は4～5日ないし10日程度と考えられ、無症状のものから、食思不振、嘔吐、腹痛、下痢（水様性下痢や粘血便）などを呈するものまで様々である。患者の免疫力が正常であれば通常は数日間で自然治癒するが、エイズなどの各種の免疫不全者には重篤な感染を起こすことがあり、1日に3～5リットル、時に10リットルをこえる下痢によって脱水死することもある。

《備 考》

世界的に広く分布し、本原虫による水道水の汚染が問題となっている。また、米国等ではエイズ患者の重篤な合併症として注目されている。